

当該分野の現状と課題のまとめ

■ 練馬区の現状 ■

(1) 健康

- 悪性新生物（がん）による死亡者数が近年、増加している。
- 基本健康診査の受診者数は増加傾向にあるが、がん検診の受診者数は近年減少している。

(2) 医療

- 練馬区の人口10万あたりの医師数、病床数は都区部平均を下回っている。
- 休日急患診療所の平成18（2006）年度利用者数は、練馬休日急患診療所が約1万1千人、石神井休日急患診療所が約6千人となっている。
- 国民健康保険の被保険者数、世帯数は、年々増加傾向にある。

■ 区民の意識 ■

- 健康・医療に係る施策への満足度は、「満足」「どちらかといえば満足」の合計が、健康づくり（健康診査や予防啓発）では61.2%となっている。（「区民意識意向調査（平成18年度）」より）
- 健康について知りたいことは、「認知症の予防」（28.5%）「がんや糖尿病等の生活習慣病の予防」（25.6%）「栄養・食生活」（24.4%）となっている。（「練馬区高齢者基礎調査（高齢者一般調査）」（平成17年3月）より）
- ふだんから健康に「気をつけている」は80.6%である。特に健康に気をつけていることでは、「食事や栄養に気をつけている」（84.2%）、「規則正しい生活を心がけている」（61.3%）、「定期的に健康診断等を受けている」（60.1%）が上位となっている。（「練馬区高齢者基礎調査（これから高齢期を迎える方の調査（一般）」（平成17年3月）より）
- 健康のために週1回以上身体を動かす人は80.4%、また、健康について知りたいことは、「生活習慣病の予防」「認知症の予防」などである。（「練馬区高齢者基礎調査（これから高齢期を迎える方の調査（一般）」（平成17年3月）より）

■ 関連する計画・主要事業 ■

<<計画等>>

- 食品衛生監視指導計画（平成19年3月）
- 健康づくり総合計画（平成18年3月改定）

<<主要事業>>

- 災害時医療救護体制の構築と安全安心のまちづくり事業
- 高齢者いきいき健康事業
- メタボリックシンドローム予防啓発事業
- 食育推進計画の策定
- 区民健診事業の拡充
- 受動喫煙防止推進事業

■ 当該分野の課題 ■

- 健康について知りたいことは、「認知症の予防」や「生活習慣病の予防」についてが最も高く、適切な情報提供が必要である。
- 健康について、ふだんから気を使っている人が多く、健康についての関心が高く、高齢期を迎えるにあたっての健康づくりを推進していくための方策を充実していく必要がある。
- また、高齢者に限らず、各年齢層のライフスタイルに応じた健康増進支援策の確立が求められる。
- 練馬区の人口あたり病床数は、都区部平均の半数程度と病床不足の状態にあることから、医療機関相互の連携の促進や地域医療のシステム化を図り、医療資源の有効活用が求められる。

当該分野の現状を示すデータ

(1) 健康

① 主要死因

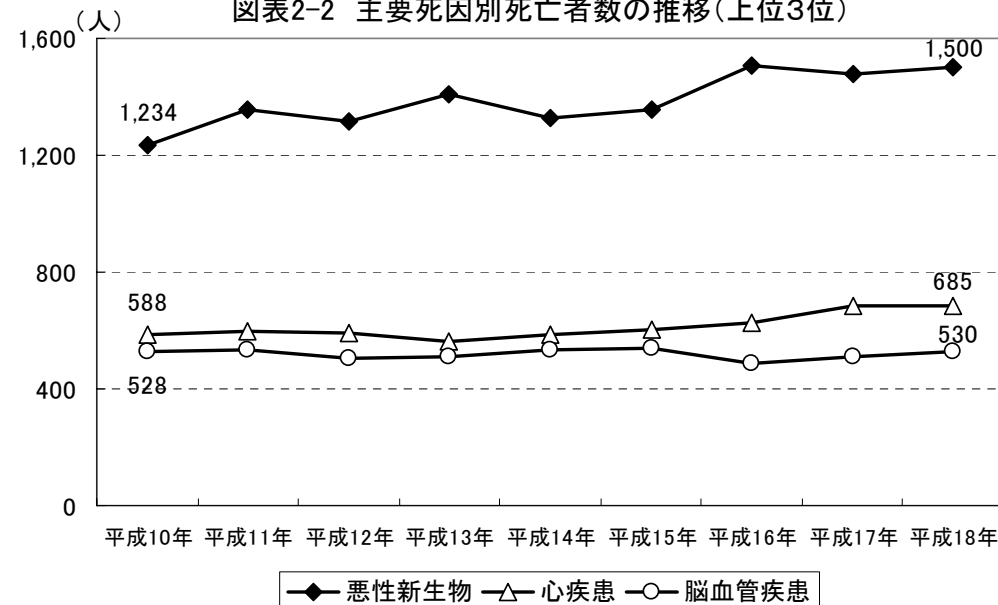
■ 悪性新生物(がん)による死亡者数が近年、増加している。

図表2-1 主要死因別死亡者数の推移

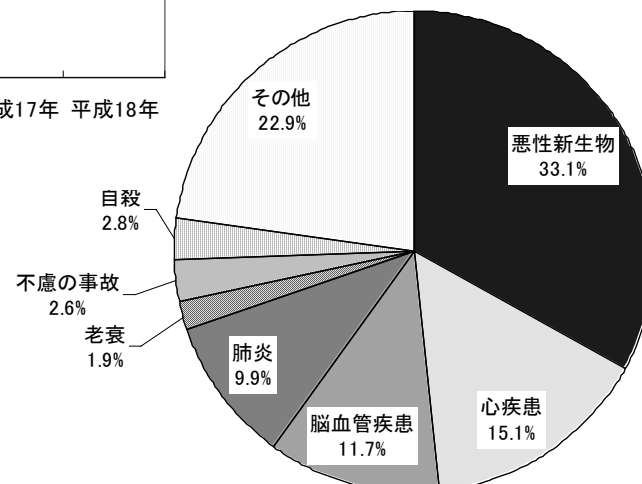
| | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 悪性新生物 | 1,234 | 1,355 | 1,315 | 1,407 | 1,326 | 1,359 | 1,507 | 1,481 | 1,500 |
| 心疾患 | 588 | 599 | 589 | 562 | 584 | 602 | 624 | 684 | 685 |
| 脳血管疾患 | 528 | 536 | 502 | 508 | 532 | 537 | 489 | 510 | 530 |
| 肺炎 | 329 | 396 | 401 | 344 | 380 | 403 | 411 | 437 | 446 |
| 老衰 | 66 | 75 | 75 | 76 | 81 | 81 | 85 | 91 | 87 |
| 不慮の事故 | 97 | 116 | 140 | 111 | 135 | 146 | 102 | 133 | 117 |
| 自殺 | 117 | 162 | 142 | 138 | 101 | 146 | 128 | 144 | 126 |
| その他 | 864 | 921 | 843 | 893 | 908 | 973 | 1,007 | 1,041 | 1,035 |
| 計 | 3,823 | 4,160 | 4,007 | 4,039 | 4,047 | 4,247 | 4,353 | 4,521 | 4,526 |

資料) 練馬区資料より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

図表2-2 主要死因別死亡者数の推移(上位3位)



図表2-3 主要死因別死亡者数の割合(平成18年)

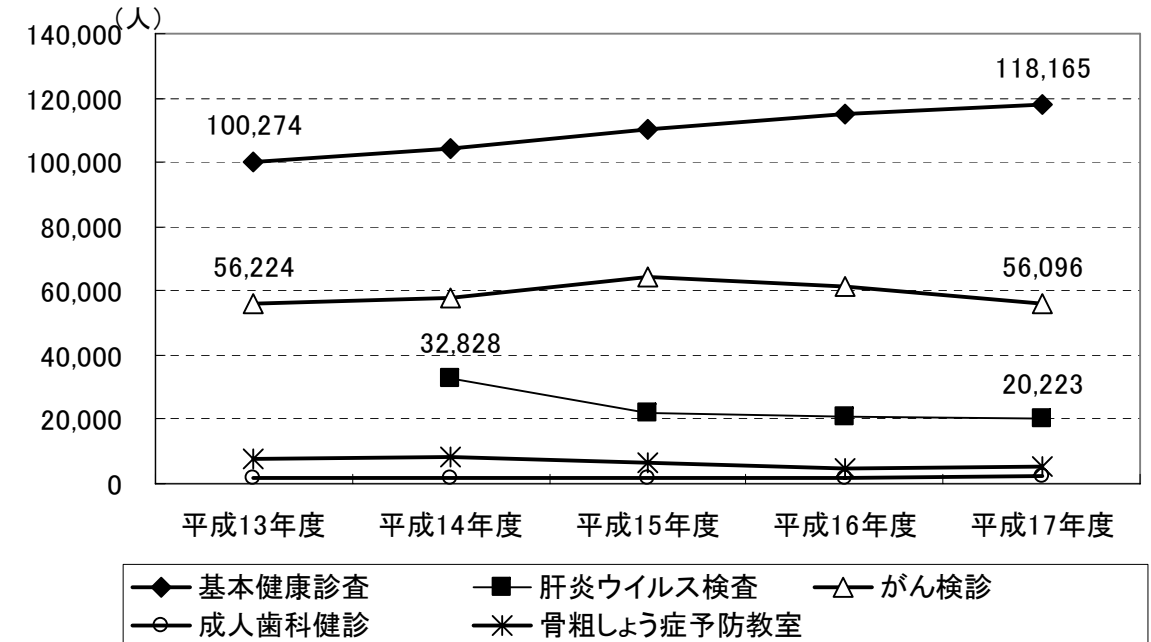


資料) 練馬区資料より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

② 健康診査

■ 基本健康診査の受診者数は増加傾向にあるが、がん検診の受診者数は近年減少している。

図表2-4 健康診査等の受診者数の推移



資料) 練馬区「練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

図表2-5 健康診査等の状況(平成17年度)

| 健診(検診)名 | 基本健康診査 | | | | 肝炎ウイルス検査 | |
|---------|---------|--------|--------|--------|----------|--------|
| | 節目 | 成人(集団) | 成人(個別) | 高齢者 | C型 | B型 |
| 受診者 | 118,165 | 7,809 | 15,802 | 16,411 | 78,143 | 20,223 |
| 有所見者 | 103,684 | 5,969 | 11,120 | 13,272 | 73,323 | 124 |
| 有所見者率 | 87.7% | 76.4% | 70.4% | 80.9% | 93.8% | 0.6% |

| 健診(検診)名 | がん検診 | | | | | | 成人歯科健診 | 骨粗しょう症予防教室 |
|---------|---------|--------|-------|----------------|-------|-------|--------|------------|
| | 胃がん(集団) | 節目胃がん | 子宮がん | 乳がん(マンモグラフィ検診) | 肺がん | 大腸がん | | |
| 受診者 | 56,096 | 15,275 | 5,558 | 10,510 | 4,779 | 1,501 | 18,473 | 2,453 |
| 有所見者 | 5,325 | 2,211 | 937 | 124 | 909 | 55 | 1,089 | 1,960 |
| 有所見者率 | 9.5% | 14.5% | 16.9% | 1.2% | 19.0% | 3.5% | 5.9% | 80.1% |

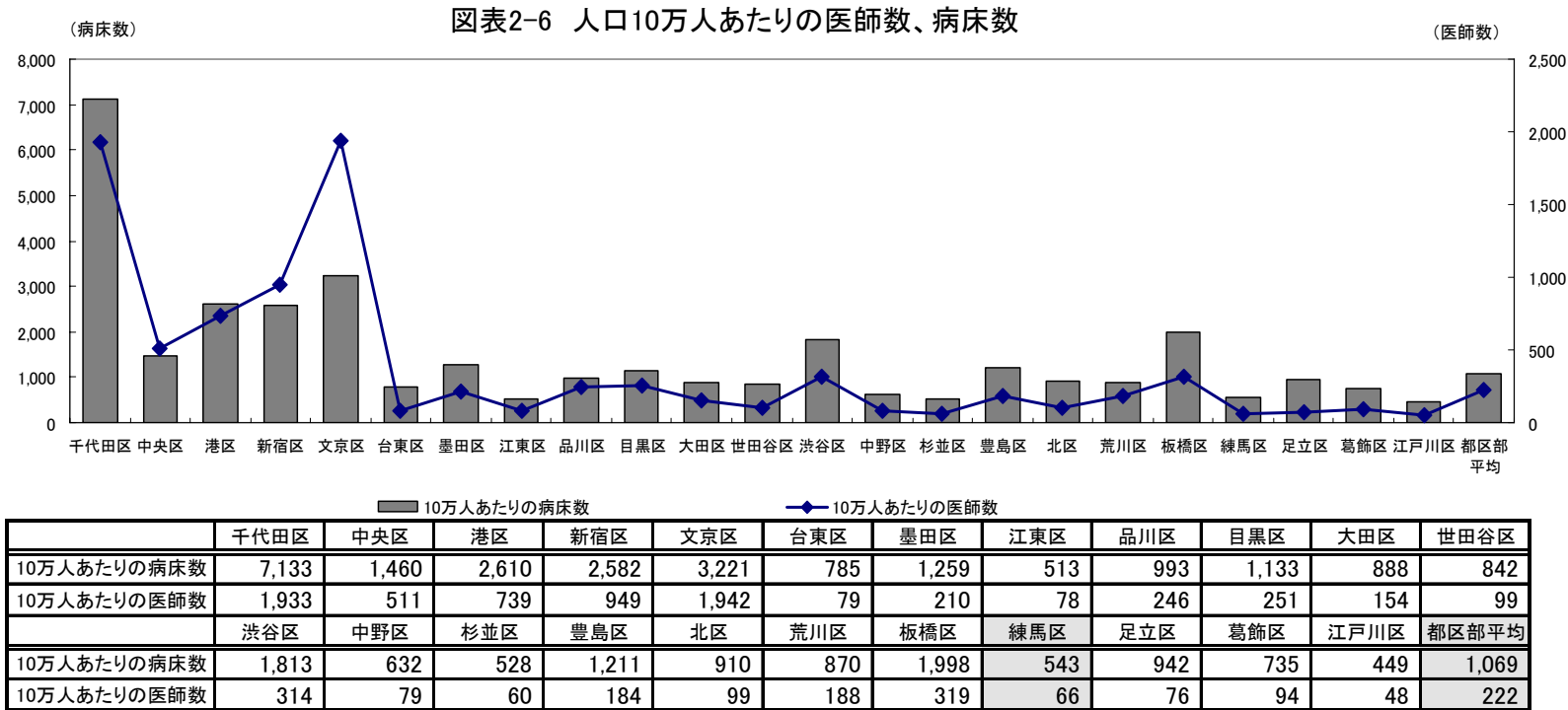
資料) 練馬区「平成18年版(2006年版)練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

当該分野の現状を示すデータ

(2) 医療

① 医療

■ 練馬区の人口10万あたりの医師数、病床数は都区部平均を下回っている。



注釈) 病床数は病院、一般診療所の病床数の合計

資料) 厚生労働省「医療施設調査」「病院報告」(平成16年)、東京都「東京都の医療施設」(平成16年)、総務省「住民基本台帳人口要覧」(平成16年)より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

図表2-7 病院、一般診療所の施設数および病床数の推移

| 施設数 | | 平成2年 | 平成7年 | 平成12年 | 平成17年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 練馬区 | 病院 | 22 | 21 | 20 | 21 |
| | 一般診療所 | 426 | 450 | 482 | 528 |
| 都区部 | 病院 | 520 | 490 | 453 | 441 |
| | 一般診療所 | 8,513 | 8,713 | 8,914 | 9,368 |

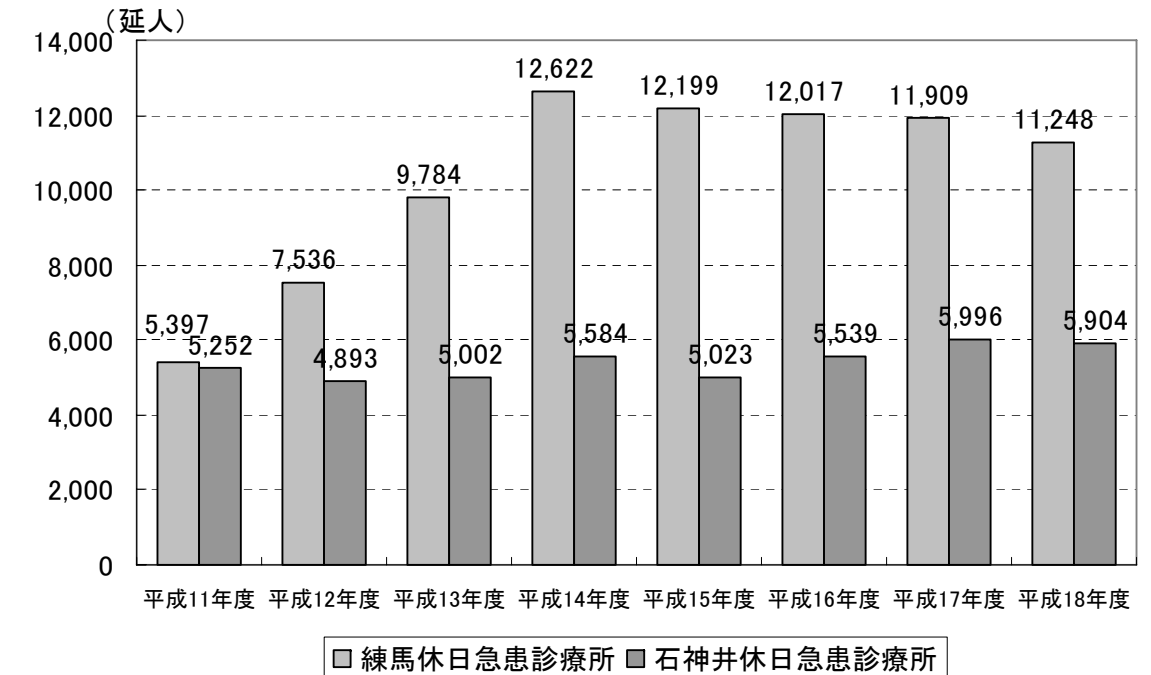
| 病床数 | | 平成2年 | 平成7年 | 平成12年 | 平成17年 |
|-----|-------|--------|--------|--------|--------|
| 練馬区 | 病院 | 3,611 | 3,595 | 3,321 | 3,410 |
| | 一般診療所 | 446 | 417 | 372 | 332 |
| 都区部 | 病院 | 90,318 | 86,135 | 81,885 | 81,663 |
| | 一般診療所 | 8,925 | 7,836 | 6,521 | 5,212 |

| 10万人当たりの病床数 | | 平成2年 | 平成7年 | 平成12年 | 平成17年 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 練馬区 | 病院 | 595 | 577 | 514 | 508 |
| | 一般診療所 | 73 | 67 | 58 | 49 |
| 都区部 | 病院 | 1,122 | 1,099 | 1,034 | 997 |
| | 一般診療所 | 111 | 100 | 82 | 64 |

資料) 厚生労働省「医療施設調査」「病院報告」(各年)、練馬区「住民基本台帳人口」(各年)より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

■ 休日急患診療所の平成18(2006)年度利用者数は、練馬休日急患診療所が約1万1千人、石神井休日急患診療所が約6千人となっている。

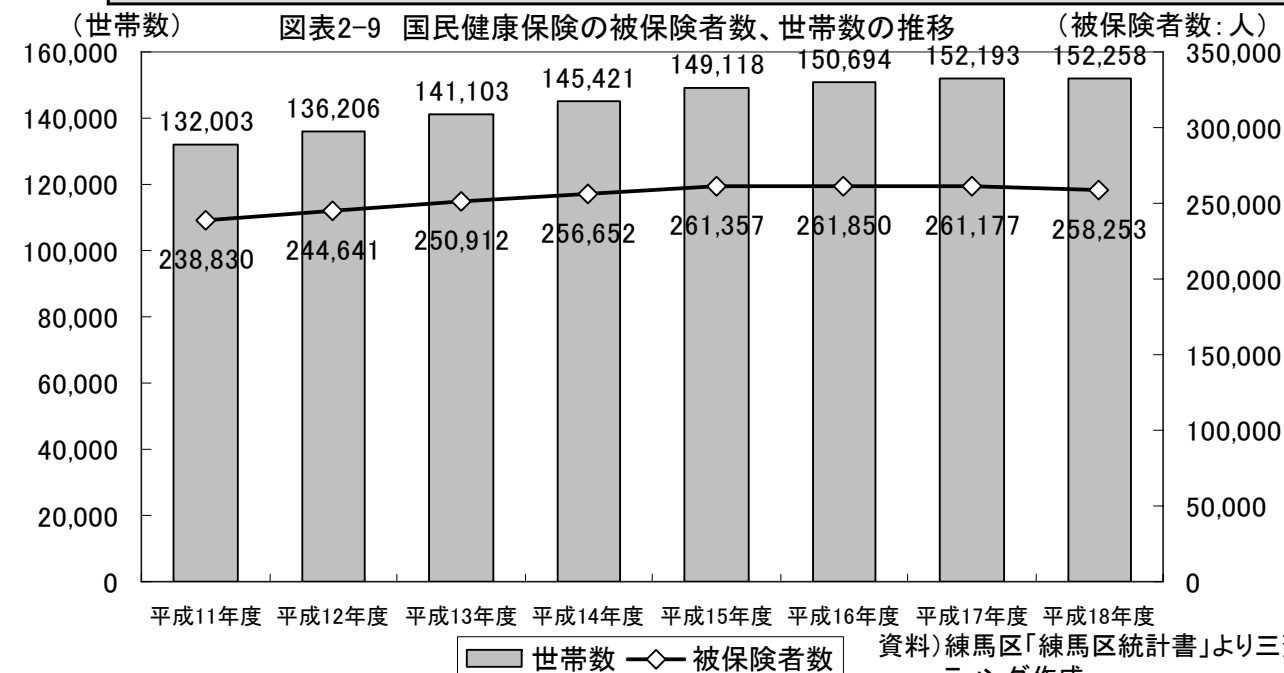
図表2-8 休日急患診療所の利用実績



資料) 練馬区資料より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

② 健康保険

■ 練馬区において国民健康保険に加入する世帯は、平成5(1993)年度から増え続けており、平成18(2006)年度は152,258世帯になった。被保険者数は増え続けていたものが、平成17(2005)年度から減少に転じ、平成18(2006)年度は258,253人となった。



資料) 練馬区「練馬区統計書」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

当該分野の課題に対応する事例

| 関連する課題 | 事例名称 | 事例の概要 |
|--|---------------------------|---|
| ライフスタイルに応じた健康増進支援策 | 食のまちづくりの推進（福井県小浜市） | <ul style="list-style-type: none"> 福井県小浜市では、平成13（2001）年9月に全国に先駆けて「食のまちづくり条例」を制定、翌14（2002）年4月には、市役所に食のまちづくり課を新設し、以来、食を核に様々な分野の施策を統合的に進め、中でも、食育については、食のまちづくりのシンボリックな施策として特に力を入れている。 平成15（2003）年4月には、食育専門職員を配置し、翌16（2004）年には食育サポーターを募集するなど、市や学校、地域が一体となって食育を推進する体制を整備した。 具体的には、食文化館、幼稚園・保育園、学校、公民館、健康管理センター等において、住民のライフステージにあわせた以下のようなきめ細やかな食育活動を実践している。 一乳幼児を持つ親を対象とした食事指導、幼児を対象とした料理教室（キッズキッチン）、小学生を対象とした料理教室（ジュニアキッチン）、栄養教諭等による朝食指導、郷土料理に関する学習、農作業や漁業などの体験学習、学校教職への地場産食材の活用、成人を対象とした食生活改善のための講習会、成人男性を対象とした料理教室、特に若い人を対象とした郷土料理の講習会、高齢者を対象とした配食サービス、食生活改善推進員によるマンツーマン栄養指導 |
| 中高年齢者の豊富な経験や知識を、地域の問題解決やまちの魅力向上に活かしてもらうための仕組みづくり | せたがや生涯現役ポイントシステム（東京都世田谷区） | <ul style="list-style-type: none"> 世田谷区では基本計画のなかで「いつまでも生きがい」を生涯現役プロジェクトを定め、保健福祉、医療分野に加え、産業や教育、文化振興に関する関連計画との調整を図るため、平成19（2007）年3月に「生涯現役推進行動計画」を策定した。同計画は、生涯現役プロジェクトを踏まえ、「地域での活躍を支える健康づくり」「経験や知識を活かす支えあいの地域づくり」「新しい生きがいづくり」の3つの視点からなる。 平成19（2007）年12月から、同プロジェクトの一環として、地域ボランティア活動や介護予防講座に参加した場合、ICカード「PASMO」にポイントが貯まる「せたがや生涯現役ポイントシステム」が開始される予定である。 「せたがや生涯現役ポイントシステム」は、1)65歳以上の区民を対象に、介護予防講座への参加に対するポイント付与、2)55歳以上の区民を対象に、地域貢献活動への参加に対するポイント付与、3)区内商店街や公共施設におけるポイント利用（1ポイント1円で交換）として利用することとされている。 |
| 地域における高齢者の健康づくり・仲間づくり | 品川いきいき健康マージャン広場等（東京都品川区） | <ul style="list-style-type: none"> 品川区と（社）長寿社会文化協会（WAC）と日本健康麻将協会（麻将協）の協働事業。60歳以上の品川区民の健康づくり、仲間づくりを目的として、区が募集と会員登録を担当する。WACは、賭けない、飲まない、吸わないマージャン（これを「健康マージャン」という）を企画・立案して、運営責任を負う。麻将協は、会場を提供し、個人成績の管理を行い、ルールやマナーに詳しいボランティアスタッフを育成し、WACとともに運営にあたる。 この他にも、区では高齢者の健康づくりのための事業として、「品川出会いの場」（地域の公衆浴場を利用し、高齢者が気軽に参加できる体操等のプログラムや入浴等を実施）や「いきいきカラオケ広場」（民間のカラオケ店を利用し、高齢者がカラオケを楽しみながら、仲間づくりや健康づくりを行う場を提供）などの取り組みを実施している。 |

資料)報道資料等各種資料をもとに三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成